

産業建設 常任委員会

本会議から当常任委員会に付託された案件は条例二件、補正予算七件、市道の廃止一件及び認定一件、陳情二件である。

農林水産業費（農業費）

問 目指せ「元気な担い手」

農業夢プラン応援事業費補助金については六月定例会で市長より前向きな答弁があり安心してしたが、今回の補正では十二分の一の補助であり期待を裏切るものである。

この事業に対する大仙市、美郷町は十二分の一である。

仙北市がこのままでいいという考え方であれば農業施策に対して農家は批判的になる。他と同じ補助率にして、やる気を出させ、仙

北市の一次産業である農業の活性化を図るべきだ。

問 農家が農業に対してやる

気をなくさないような補助の仕方を考えていく。残り十二分の一については十二月議会で対応したい。
農業夢プラン事業だけが補助ではなく、売れる米づくり事業・循環型農業等もあり支援は必要と考えている。

農林水産業費（林業費）

問 新エネルギービジョン策

定事業・バイオマス等未活用エネルギー事業について具体的な説明をしてほしい。

答 新エネルギービジョンと

は仙北市に潜在的に存在するエネルギー量の調査をし、新エネルギー導入について基本的方針を策定するものである。

バイオマス等活用エネルギー事業は間伐材等を利用してガス化発電装置により電力等の供給を行う事業の可能性を調査するものである。

土木費（道路維持補修費）

問 流雪溝が車道に面した場所

所で開閉式流雪溝の蓋の上を車が通り騒音の苦情があるようだが、どのような対応をしているのか。

答 蓋の音については蓋その

物が痛んできている物と構造上により音が大きくなっている物もある。隙間にゴム板を敷いたり、木材を入れ遊びを少なくするなど予算の範囲内で対応している。新しいタイプは防音ゴム付や開閉が楽なスプリング付などがあり、順次更新していきたい。

土木費（冬季交通対策費）

問 今年ももう少しで冬の季節

を迎えるが、昨年度の豪雪による除雪で多くの苦情が寄せられた。今年の除雪に対する指揮命令系統をどうするのか。

答 豪雪地帯については業者

が降雪の状況を確認して出勤している。以前には職員が夜間、降雪状況を判断して出勤の指示を出すことについて問題があるのかということもあ

れる人をお願いしていた。

問 昨年のような豪雪の場合その方たちの負担が大き

く、今年は職員もパトロールをして除雪出勤の指示を出すようにしたい。

答 豪雪中の事故対応はどの

ようになっているのか。
軽微な物損事故については委託業者の責任で対応することが必要であり、委託費の中に保険料を含めることで検討していきたい。

問 予期せぬ事故が発生する

場合もあり、道路管理者としての責任も発生する。事故の内容により最終的に市が責任を持つもの、委託業者が対応するものについて統一してほしい。

商工費

（観光宣伝費）

問 仙北市首都圏PR

センター（仮称・仙北市東京屋敷）の設置場所を荒川区が候補地となっているようだが、なぜ荒川区なのか、出店した場合維持管理を「ど

うするのか、また、どのような物品販売を考えているのか。

答 PRセンターの場所につ

いては、荒川区に出店した場合補助を出すということ

で検討しているが、まだ決

まっていない。維持管理は商工会、物産協会等、品物を集められるところをお願いする。
客層は中高年層をターゲットにしたことから、農産物加工品である、お菓子・笹もち・昔懐かしいお菓子等考えている。当初は利益よりも信頼関係を重視



めざせ元気な「担い手」